

すごい治療法、

最新メソッド大集合、
あなたの考えが
180度変わる

劇的進歩の



放っておいて いい病気

一刻も早く専門医に診てもらわなければならない病気がある一方、「放っておいたほうがいい」といわれている病気もある。名医たちに最新事情を教えてください。

Latest Treatment 1 Gastrointestinal Surgery

消化器系

抗炎症剤は潰瘍の危険。薬より「歩く」が効く

★内視鏡検査は 専門医を選んで

口腔から食道までの病気で怖いのは、やはりがんです。舌がん、口腔底がんなどの口内にできるがんを総称して口腔がんと呼びます。舌がんは20代、30代の若い人でもかかるがんですし、先代の貴ノ花は2005

年に口腔底がんで、55歳の若さで亡くなっていきます。口と食道をつなぐ咽頭でも、食道でもがんは発生し、口腔がん、咽頭がん、食道がんはいずれも喫煙が主な原因です。たばこを吸う人は肺がんを気にしますが、たばこの煙は口、喉、気管と巡っていくため、口と喉が一番影響を受けやすいのです。喫

煙と飲酒の両方の習慣がある人では、より発がんの危険性が高まることわかっていきます。咽頭がんや食道がんは自覚症状が出にくいので、症状が出たときにはすでにがんが広がっており、助からないことが多い。早期発見のためにはがん検診の際の内視鏡検査（いわゆる胃カメラ）で見つけるしかあり

ません。内視鏡検査を行う際、たばこを吸う人は「私はたばこを吸うので、喉と食道も時間をかけてよく見てください」と検査前に医師に頼んでおくといいでしょう。

内視鏡検査は医師であれば誰でもできますが、早期の食道がんや咽頭がんを確実に見つけるには、そのための訓練をしている、日本消化器内

視鏡学会認定専門医に診てもらわなければならない。咽頭がん、食道がんとも、がんの組織はほぼ同じで、早期であれば内視鏡で見つけてその場で切除できます。胃腸の病気としてよく知られているものに、胃潰瘍や慢性胃炎があります。胃潰瘍はみぞおちの痛み、慢性胃炎では胃の不快感や胸やけなど、胃がんと似た症状が出ますが、どちらも主な原因となっているのはピロリ菌で、菌を除去することで完治します。近年はピロリ菌の感染自体が減ってきたため、胃潰瘍も慢性胃炎も、また十二指腸潰瘍なども、以前に比べて大きく減っています。

ほぼ完治させられるので、がん検診の普及に伴い死亡率が急速に低下しています。大腸がん検診では便潜血検査を行い、血液反応があった場合には、下剤を服用したうえで肛門から内視鏡を挿入する大腸内視鏡検査を行います。胃がん、大腸がんも食道がんなどと同じく、早期であれば内視鏡治療で切除できます。忘れずに毎年がん検診を受けてください。

す。機能性胃腸症は、歩くだけでは100%治る病気だからです。

あります。腹部のエコーを受けて「胆石があります」と言われた人は、腹部に痛みや不快感、よくわからない発熱があった場合には、胆石症を疑って早めに受診するようにしましょう。

★膵臓がん と糖尿病の関係

膵臓の病気の代表は糖尿病で、日本には1000万人の患者がいます。膵臓が弱ってインスリンの分泌が減ったり、効きが弱くなった状態です。糖尿病は神経障害や網膜症、腎不全など多くの病気の原因となり、がんの発症率も高くなります。

膵臓の病気の代表は膵臓がん、日本には1000万人の患者がいます。膵臓が弱ってインスリンの分泌が減ったり、効きが弱くなった状態です。糖尿病は神経障害や網膜症、腎不全など多くの病気の原因となり、がんの発症率も高くなります。

膵臓の病気で代表的なものといえば、かつてはB型・C型のウイルス性肝炎でした。しかし現在、C型肝炎は根絶されかけており、B型肝炎も根治こそ難しいものの、薬で症状を抑えておくことが可能になりました。その結果これらの肝炎と、それが原因となる膵臓がんも激減しています。

一方でたばこや薬が原因の胃潰瘍は今も見られます。胃の調子が悪いときに痛み止めとしてロキソニンなどの抗炎症剤を飲むことがあります。これが胃の壁に付着してその部分に潰瘍ができてしまうのです。胃に痛みを感じたときは、素人判断で薬を飲んだりせず、医療機関を受診するようにしてください。

機能性胃腸症に対しては多くの薬がありますが、できれば薬に頼るより、日頃よく歩くことをお勧めします。

その一方で増えているのが、NA S Hと呼ばれる、非アルコール性脂肪肝炎です。脂肪肝の多くはお酒の飲みすぎが原因ですが、NA S Hはアルコールによらない脂肪肝（NAFLD）のうち悪性のものです。放置すると肝硬変や肝がんに進行していきます。

胆のうの病気の代表は胆石です。胆汁成分が結晶化したもので、加齢とともにできやすくなり、日本では70歳以上の5人に1人が持っていると言われています。そのままでは自覚症状はありませんが、できた胆石が胆管に詰まると、みぞおちなどに激しい痛みを伴う胆石症を発症し、急性膵炎や肝障害を併発して、緊急手術を受けなければならないことも

がんの中でも、肺がんと並んで多いのが胃がんと大腸がんです。胃がんの原因にはピロリ菌の感染、喫煙塩分の過剰摂取があり、大腸がんは動物性脂肪の消化の際に原因物質が発生すると考えられています。

胃がんは内視鏡検査やバリウム検査で早期発見が可能です。その場合は

胃がんは内視鏡検査やバリウム検査で早期発見が可能です。その場合は

胃がんは内視鏡検査やバリウム検査で早期発見が可能です。その場合は

がんの中でも、肺がんと並んで多いのが胃がんと大腸がんです。胃がんの原因にはピロリ菌の感染、喫煙塩分の過剰摂取があり、大腸がんは動物性脂肪の消化の際に原因物質が発生すると考えられています。



胃がんは内視鏡検査やバリウム検査で早期発見が可能です。その場合は

胃がんは内視鏡検査やバリウム検査で早期発見が可能です。その場合は



長尾和宏

長尾クリニック院長、医学博士。東京医科大学卒業。1995年兵庫県尼崎市で開業、複数医師による365日無休の外来診療と24時間体制での在宅医療に従事している。著書に「糖尿病と膵臓がん」など。

《健康診断》70万人調査で常識一変! 最高血圧160で問題なし

PRESIDENT

プレジデント

毎月第2・第4金曜日発売 2020.1.3号
価格780円

一家に一冊、保存版●
医者に頼らない生き方

信じては

いけない!

健康診断

なぜアメリカ人の9割は
健康なのか?

